

事業内容1:放課後価値向上支援・地方型汎用モデル構築

子ども主体活動に対する拠点直接支援

活動ブログ

【放課後チャレンジプロジェクト_こうさく参加拠点の様子】

<https://note.com/npoafterschool/n/ncbe4bdb9056e>

【放課後チャレンジプロジェクト_最終報告会の様子】

<https://note.com/npoafterschool/n/n2043addab8bb>

子ども主体活動の導入・発展のリモート伴走支援(全国15拠点10自治体)

新潟県佐渡市/埼玉県さいたま市/東京都江東区/愛知県名古屋市・あま市/大阪府柏原市/兵庫県明石市/鹿児島県南九州市/
沖縄県那覇市・八重瀬町

昨年度の放課後STEAPプロジェクトよりさらに低コストかつ短期間でのリモート伴走支援の形を模索。全国15拠点が、子ども主体の活動を初めて導入もしくは改善や発展をすることができた。
道具や材料といったアイテムが活動スタートの後押しとなったとともに、オンラインによるスタッフの事例や情報交換の機会が、活動へのモチベーションや実践につながった。

支援拠点

放課後事業運営団体・施設を全国から公募し選定

運営形態:

放課後児童クラブ(6拠点)
放課後子ども教室(4拠点)
第三の居場所(4拠点)
放課後デイ(1拠点)

全体人数:

子どもの人数(422名)
スタッフ人数(120名)
※各支援拠点登録人数



取り組み

工作、ソーイング、お祭り、外あそびの4テーマで実施
1拠点につき1テーマ選択いただき、伴走支援

活動に必要な道具や材料の提供
1拠点あたり1.5万円程度のアイテムをセットとして提供

研修・交流会(全3回)
NPO直営拠点スタッフが支援拠点のメンターとなり実施

支援期間: 2023年7月~11月(4か月間)

子どもたちの活動

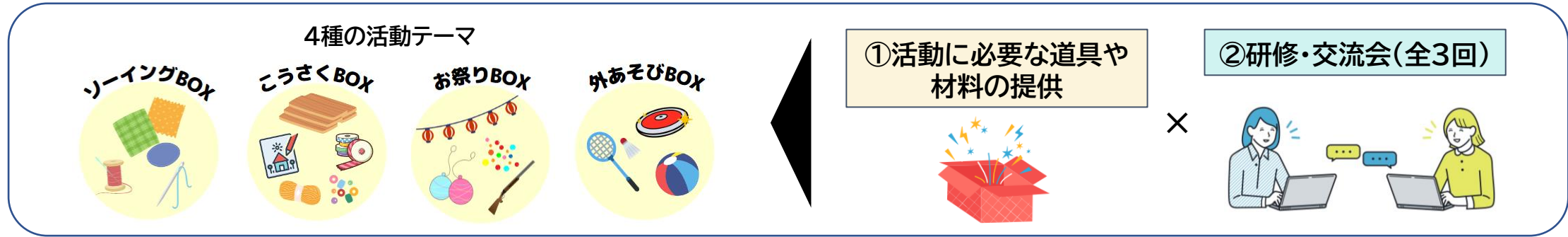
第1回(7月)
オンライン研修会

アイテム
提供

第2回(9月)
中間報告・相談会

第3回(11月)
活動報告会

伴走支援の実施項目 子どもたちに人気で子ども主体の要素を含める、工作、ソーイング、お祭り、外あそびをテーマに設定し、物的支援と、スタッフへの研修・交流会の機会提供を行った。



①活動に必要な道具や材料の提供

放課後NPO直営拠点スタッフにヒアリングをし、1セット1.5万円程度でセット内容を精査・決定。目に見える「もの」が大人にとっても子どもにとっても大きな活動のきっかけや後押しとして作用した。



セット内容例

ソーイング

- 縫い針セット
- 手芸糸・刺繍糸
- 裁ちばさみ
- プラスチック針
- フェルト
- 布
- ボタンやリボン
- 参考書籍 など

お祭り

- ヨーヨー釣り
- 消しゴムくじ
- 射的用鉄砲
- スーパーボールすくい
- 油性マジック
- ボンド
- 画用紙

②研修・交流会(全3回)

放課後NPO直営拠点スタッフがメンターとなり、事例紹介や困りごとへの相談・アドバイスを実施。支援拠点同士の情報交換の場としても作用した。

1回目(7月)

対象:支援拠点全体
内容:マインドセット、事例紹介

2回目(9月)

対象:支援拠点を活動テーマごとの小グループに分けて開催
内容:活動の中間報告、相談・アドバイス

3回目(11月)

対象:支援拠点全体
内容:活動報告



4テーマの活動における子ども主体活動への導入・発展

【ソーイング】松川児童クラブ(沖縄県那覇市) 高学年から導入し、外部人材の手も借りて今は低学年にも展開

【これまで】
スペースが狭く、室内活動を充実させることが難しいという課題感あり。手芸活動を初導入する。

【取り組み】
興味を持った高学年を中心に自由に作品作りができるように設定

- ・書籍やタブレットを自由に活用
- ・作りたい作品を尊重
- ・好きな時にできるように活動の道具を1箇所



大人は必要最低限
子どもが自分で自由に好きに
作品を作れる環境に



手芸好きな地域人材を確保し、
高学年を見て「やりたい！」と
言っていた低学年にも活動を展開

【工作】あま市放課後子ども教室(愛知県あま市) 大人主導の工作から子どもの自由な工作に！

【これまで】
大人主導の決まった
工作活動のみを展開

※スタッフの声
「自由にさせたら収集がつかないよ」
「材料だけ与えても自由になんて作れないよ」

【取り組み】
スタッフmtgでどんな風に
子どもたちにBOXを見せるか、
「やりたい」を引き出すかを話
し合いを実施

子どもと一緒にBOXを開いて
みて自由な工作環境を設定



子どもたちが夢中に・楽しんでいる様子を見てスタッフも喜び！
「こんなに自由にできるんだ！」「子どもたちの想像力に驚き！」
「これからは体を動かす遊びでも子どものやりたいを引き出したい」



4テーマの活動における子ども主体活動への導入・発展

【お祭り】あそぼっくすほりさき(埼玉県さいたま市) 大人主導から子ども主導のお祭りへ初挑戦!

【これまで】

これまでイベントは大人主催が主。子どもたちは自由遊びがメインで、役割を与えられることはあまりなく、子ども主体の活動経験もなかった。

【取り組み】

「子どもたち主催のイベント」へ初トライ

- ・実行委員を募集、子どもたちでお店を担当し役割分担
- ・70人規模のお祭り実施
- ・実行委員の打ち上げも実施



「子どもたちの仕事を取らず、あくまで見守りを」と大人側の姿勢を統一



子どもの力を再発見し、継続した子ども主体の活動へのモチベーション

【お祭り】NPO法人リンク・スマイル(東京都江東区) 子ども縁日開催から、普段の遊びまで子ども主体を展開

【これまで】

毎年こどもあそび館というイベントを開催してきた。発達障害児と定型発達児が半々で、インクルーシブな現場。地域との連携をしていききっかけとして参加

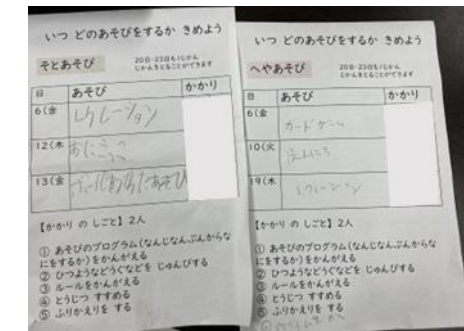
【取り組み】

みんなで作り上げた縁日から日常にまで子ども主体が浸透

- ・地域のお祭りに参加
- ・環境づくり、声かけ・伴走など子ども主体を促す工夫を実践
- ・その後毎月「チャレンジプログラム日」を設定し活動展開



企画・ルール作り、看板やチラシ作りなど様々な準備を子どもたちが重ね、200人規模の縁日に

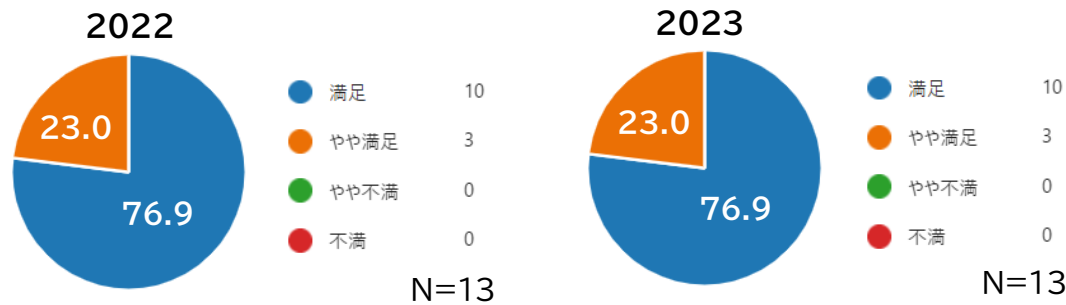


日常の遊びでも子どもたち自身でやりたいことを話し合い、取り組み、振り返りまで行うように

スタッフ向け事後アンケート(昨年度との比較)

昨年度に比べてコミット・コストを減らしたものの満足度は変わらず、活動の導入のきっかけや情報交流の機会としても寄与。その他データでは昨年度よりも改善が見られた。

PJ全体の満足度



PJ全体の満足度理由(FA)

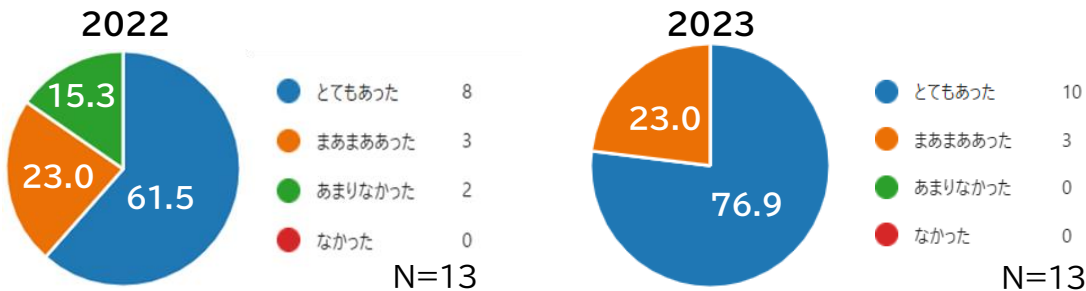
2022

- こどもたちの活動の幅が広がった
- 全国の放課後関係の方たちの取り組みが知れて良かった
- 一歩踏み出すきっかけとなったプロジェクト

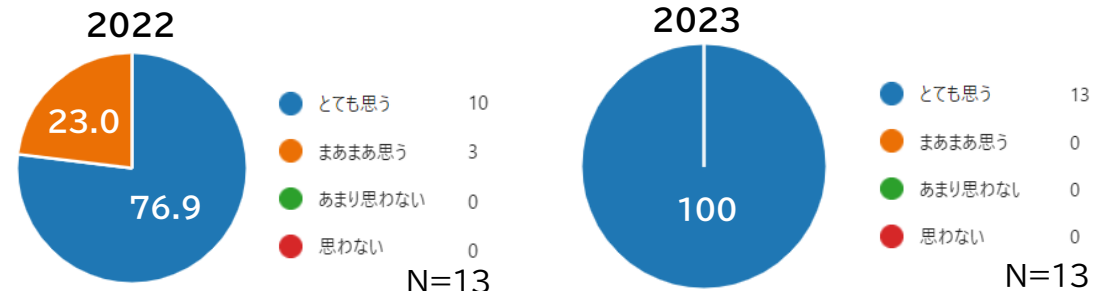
2023

- 子ども達も私たちスタッフも楽しい時間が過ごせた
- 他の方の意見を聞いたり指摘や質問をいただく機会がないため貴重な時間だった
- このプロジェクトがなければ、子ども主体のお祭りに踏み出すことはなかったと思う
- 道具や材料の収納、片付け方を見直す機会になった

PJを通じた変化や気づき、新たな発見の有無



PJで始めた活動や子ども主体の取り組みを継続したいか

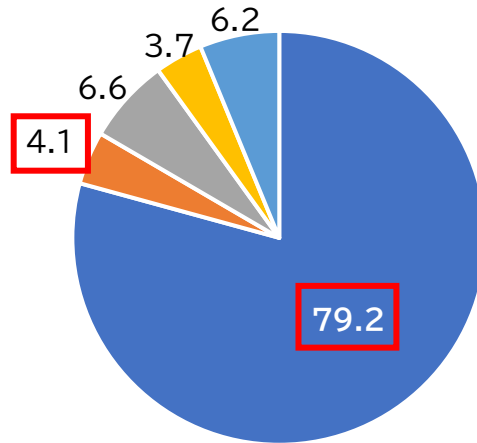


子ども向け事後アンケート

83%の子が「BOXを使ってやりたいことができた」と回答。FAにおいても、「自分の作りたいものができた」「いつもはできない工作ができた」「また縁日が見たい」などの声が見られた。

BOXを使ってやりたいことはできたか(FA)

83.3%が「できた・まあまあ」と回答



■ 出来た ■ まあまあ ■ 出来なかった ■ したい・やりたい ■ その他 N=241

※集計方針

- 「はい」「できた」「具体的な活動名」⇒「できた」
- 「できなかった」「なし」「あまり」⇒「できなかった」
- 「まあまあ」「ふつう」⇒「まあまあ」
- 「〇〇をつくりたい」「〇〇を使いたい」⇒「したい・やりたい」
- 「わからない」「やっていない」「未回答」⇒「その他」

BOXを使って良かったこと・楽しかったこと(FA)

<ソーイング>

- ・ じぶんがつくりたいものをつくれるのがたのしかった(3年生)
- ・ なみぬいができるようになったり、マスコットが作れたことがたのしかったです(4年生)

<工作>

- ・ 自分でいろいろやるのが超楽しいです(3年生)
- ・ いつもできない工作や遊びをできたこと(4年生)

<外あそび>

- ・ ラケットはこび、みんなでチームでしようぶして楽しかったです(2年生)
- ・ いろいろなあそびができた(2年生)

<お祭り>

- ・ 自分がおみせやさんをしたのが楽しかった(2年生)
- ・ みんなと自分がたのしかったからよかったと思う(3年生)

放課後STEAMプロジェクト支援拠点対象のオンライン座談会

昨年度実施した放課後STEAMプロジェクトの事後サポートとして、双方向のコミュニケーションが取りやすい小規模の座談会形式にて開催。プロジェクト後の現状把握や、継続した関係性の構築、拠点同士の情報交換・交流のハブとして機能した。

開催概要

日時:2024年2月21日(水)11:00~12:00

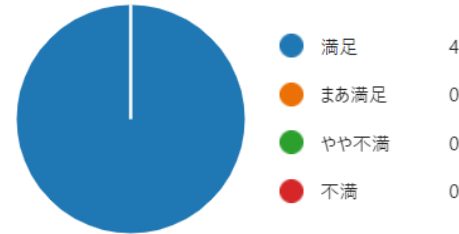
対象:放課後STEAMプロジェクト支援拠点

参加人数:4拠点8名

形式:オンライン座談会(申込制)

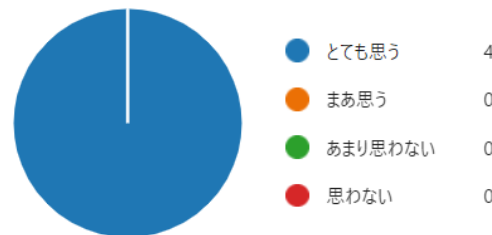
アンケート結果

満足度



- アイデア沢山参考になりました
- 今日も楽しい1日のスタートになり、子どもたちをお迎え頑張ります
- 子ども達の”やりたい“に答え、伴走していくことが大事だと改めて考えさせられました。

会を通じて「子どものやりたいを叶える」放課後づくりを継続したいと思ったか



本日のトークテーマ

放課後STEAMプロジェクトの今!

- 子どもたちのエピソード
- 困ったこと・難しいこと

「子どものやりたいを叶える」放課後づくりのために

- 私たちができること・大事にしたいことは
- 子どもたちにどんな変化・成長があるのか
- 困っていること・難しいこと

※開催前に、放課後STEAMプロジェクト参加の全9拠点へ現状やニーズ把握のため電話ヒアリングも実施

